

「第二次多摩市教育振興プラン(改訂版)」(素案) に対するパブリックコメントの結果

令和6年多摩市教育委員会第19回定例会（令和6年11月25日開催）において決定した「第二次多摩市教育振興プラン(改訂版)」(素案)に対し、パブリックコメントを実施しました。

(1) パブリックコメント実施結果

実施期間：令和6年12月20日（金）～令和7年1月20日（月）まで（32日間）

提出意見：1件（提出先：中央図書館1件）

(2) 閲覧場所

市役所第二庁舎1階行政資料室

多摩市立中央図書館

多摩センター駅出張所

永山公民館

閑戸公民館

二幸産業・N S P 健幸福祉プラザ（多摩市総合福祉センター）

ベルブ永山4階教育振興課

多摩市公式ホームページ

(3) 提出された意見

該当箇所	意見本文	教育委員会の考え方
1 6P 4 改訂の背景	「…社会では少子化…グローバル化…子どもの体力の低下、いじめや不登校の増加…教育においても様々な課題が生じています。…」これらを分析し施策を練られている教育委員会の方々のご努力にまず敬意を表したいと思います。	ご意見をいただいたとおり、社会は刻一刻と変化し、様々な課題が生じていると認識しています。「予測困難な時代」を生きる子どもたちが社会で生き抜くために必要となる「生きる力」を身に付けられるよう、第2章の基本施策1～3（18～37ページ）において、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むための各施策を定め、基本施策4（32～37ページ）において学校・家庭・地域が子どもたちの学びを支え、基本施策5（38～41ページ）に子どもも大人もともに学び育つための各施策を定めました。引き続き、すべての市民の学びを支えるために、学校教育と社会教育の連携を進めていきます。 今後ともご理解、ご協力をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。
18P 取り組みの指標	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の割合	市教育委員会では、重点施策であるE S Dの中で「2050年の大人づくり」をスロー

	がR 5年高くなり、自然災害や気候変動が多くなるなか、とても頼もししく思います。「津波でんぐ」のように過去に学び行動までもつていける「確かな学力」をぜひ地域住民としても学んでいきたいと思います。	ガンに、持続可能な社会の創り手を育成することを目指しています。「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の割合が高くなっているのは、E S Dの取り組みの成果の一端であると捉えています。今後も持続可能な社会の創り手として、地域の皆様とも一緒に学び、学んだことから行動に移したりすることのできる子どもたちを育成していきたいと思います。
23P 取り組みの指標	心配な点は、「どんな理由があっても「いじめはいけない」と回答している割合がR 3→R 5年に向け低下している点です。重大事態が出てきていることを危惧しています。	市教育委員会では、子どもたちの豊かな情操と道徳心を培うために、学校と連携しながら、全教育活動を通じた道徳教育及び体験活動等の充実、いじめ防止等に関する授業の3回以上の実施などに取り組んでいます。 また、いじめを重大化させないよう、各小・中学校が組織的に対応するために、各校のいじめに関する基本方針に基づき、未然防止、早期発見、早期対応できるよう、引き続き学校に対して指導・助言を行うとともに、教員対象の研修にも取り組んでいきます。
24P (1) 人権教育	「人権教育について」は、「子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」のもと、教科書検定や特別支援教育推進においては、子ども・若者に意見を聞いています。子どもの意見も今後聞いて反映していってほしいと思います。	市教育委員会では、本条例の趣旨を踏まえ、子どもの意見を取り入れた取り組みを進めています。特に本市の重点施策としているE S Dにおいては、市内のお部の小中学生が参加して「多摩市子どもみらい会議」を開催し、各校の取り組みを通して考えた「自分たちにできること」を共有し、さらに議論を深め、市政に提案をするなど子どもの意見を取り入れてきました。今後も、子どもの意見を踏まえ、子どもが主体となった取り組みを推進していきます。
26P コラム	八ヶ岳少年自然の家での移動教室での林業体験の経験は子ども達にとって貴重です。ぜひ続けていってほしいと思います。	林業体験は、市内全小学校の6年生が八ヶ岳少年自然の家に宿泊する移動教室の2日目に、自然の家に程近い国有林 62.57ha を林野庁の全面協力を得て無償で利用しながら毎年実施しています。 また、実施に際しては多摩市の児童に安全な環境で林業を体験してもらうため、事前に草刈りや危険木の伐採等が必要です。そこで、地元富士見町、指定管理者の（一社）富士見パノラマリゾート、そして多摩市内の有志で組織いただいたボランティア団体「フレンドツリーサポーターズ」の皆さんのご協力

		<p>により、林業体験に適した環境の維持・整備を行っています。</p> <p>多摩市教育委員会といたしましても、多摩市から2時間程度で行けるハケ岳の大自然を活用しながら、様々な関係者・協力者の皆様と一緒に、今度も安全第一で児童生徒に貴重な体験学習を提供して参りたいと考えています。</p> <p>引き続き多摩市の教育行政にご支援ご協力いただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。</p>
27P コラム	不登校の子どもが増加していることです。「あたごSpace」が2024年4月から開校されていますが、市の広報でははじめて9月に知らされました。市民に説明不足だと思います。不登校対策として行われていることを都の事業とは言え、市民にも説明してほしかったです。	<p>「あたごSpace」の開設にあたっては、学校を通じて令和6年1月に対象の児童生徒、保護者へお知らせし、説明会を開催しました。事業実施決定から開設までの期間が短く、開設後に入級者が安心して学校生活が送れるよう環境を整えておりました。結果として、広く市民の皆様へのご説明がたま広報（9月20号）となりました。</p> <p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
30P (5) 持続可能な部活動の環境整備	地域連携・地域移行に向けて新聞に熊本市の例がのっていました。地域連携で地域の方がコーチとして入り、部活動を続けたい先生方も入り、いろいろなスポーツや文化活動を友達と楽しめる機会を残していく方がよいと思います。大人になっても生涯学習を続けていくける1つのきっかけになると思います。	<p>学校部活動の地域連携・地域移行に向けて、多摩市では地域で活動をしているスポーツ団体や文化団体にアンケートを実施し、指導者としての連携を図っていきます。</p> <p>また、教職員の兼職兼業で部活動を続けたい先生方も指導ができるよう体制を整えることを検討しています。引き続き学校関係者、保護者、地域団体の方を委員とした協議会を通して、地域移行による子どもたちのスポーツ・文化芸術に親しむ機会の確保に向けて協議・検討を進めていきたいと考えています。</p>
—	今回の素案には、小中校長会、審議会の意見が資料としてはのっていましたので、どのように反映されたかわかりにくかったです。現場の方々の意見も市民として一緒に考えてていきたいと思っています。	<p>今回パブリックコメントを実施した素案は「本編」のみとなっており、審議会等からいただいた意見を含む「資料編」は掲載しておりませんでした。</p> <p>「資料編」に審議会等からいただいた意見を掲載しています（54～71ページ）が、紙面の都合もあり、いただいた意見をどのように反映したかが分かる資料につきましては掲載しておりません。市公式ホームページに掲載していますので、ご覧ください。</p>